

第 85 回 馬場 絢子さん (金沢大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 85 回目は、馬場 絢子さんにご執筆いただきました。

まとまらない興味関心とともに

もともと家族関係に関心があり、博士論文では親を介護する体験について明らかにしてきました。その傍ら副専攻（科学技術社会論）では、臨床家がエビデンスをどのように捉えて実践しているかをテーマに修了論文を書きました。

現職（学生相談）についてから研究に割けるリソースは減りましたが、健康診断のデータと機械学習を使った研究にチャレンジしており、目の前にいる学生さんたちへの支援につながる期待があります。加えてケアラーや高齢者の生きがいに関するプロジェクトにも参加しており、どれもやりがいがあります。しかし、研究も臨床の研鑽も際限なく、エネルギー配分が最近の課題です。

修士の頃、トレーニングの一環として、ある先生にバウムテストをみていただいたことがありました。「あれもこれも、やりたいことがたくさんあって拡散しているね」と当時からの悩みを言い当てられ、思わずニヤリとしてしまいました。自分のテーマはこれです！と言えるかっこよさには憧れますが、自分はこうやって色々やりながらなんとなく進んでいくのかなあという諦めと覚悟も出てきています。

馬場 絢子 (Ayako BABA)

【所属】 金沢大学

【連絡先】 [a\\_baba@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:a_baba@staff.kanazawa-u.ac.jp)

【HP】 [https://researchmap.jp/a\\_baba](https://researchmap.jp/a_baba)

【その他】 上記のようなテーマにご関心のある方は、ぜひお気軽にご連絡いただけますと幸いです。